

アメリカ国家の領土の拡大、移民・多民族国家の形成、そしてアメリカンドリームというアメリカ的価値観の形成にかかわる重要な歴史的事実であったととらえることができる。

(2) 現地研修の成果として(「GOLD RUSH」について知り得た情報)

A 州都サクラメントと大陸横断鉄道

サクラメントがカリフォルニアの州都であることを現地へ行って初めて知った。GOLD RUSHの拠点であったという歴史的事実を理解すれば、州都としても納得できる。また、オールドサクラメントでは、当時の大陸横断鉄道の駅を模した場所があった。なぜ大陸横断鉄道がサクラメントを經由したか、その理由もGOLD RUSHがあったからこそである。

B サッター砦とジョン・サッター

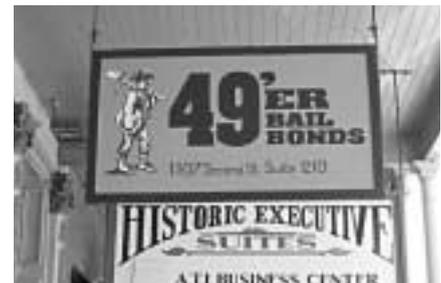
サッター砦は、現在、金鉱発掘の歴史や当時の様子を物語る歴史資料館であった。GOLD RUSHは、1848年に、ジェームス・マーシャルとジョン・サッターの2人が、コロマの製材所で金を発見したことから始まる。しかし、この2人とも第一発見者として名が残っているが、金持ちにはなっていない。マーシャルはサッターの従業員であったからとなく、サッターは砦まで構えていながら、まだフロンティアであった当時のその地域情勢により、歴史に埋もれてしまったのである。



サッター砦

C 49's (フォーティナイナーズ)

49'sとは、金鉱が発見されたことが東部に伝わり、1848年の翌年(1849年)に白人たちが西へ西へと移動し、このカリフォルニアの地へ押し寄せてきた人々のことを表した言葉である。現在のカリフォルニア州のアメリカンフットボールのチーム名は、この49'sの意味を込めて名づけられたということである。その後、海外からの移民も含めて多くの人々が押し寄せてくることになるが、49'sのみGOLD RUSHを興した人々の意味も込めて、そう呼ぶそうである。



49'sの看板

(オールドサクラメント)

D 中国系移民

サッター砦の資料館には、当時の金鉱発掘の様子の写真が多く掲示してあった。その写真の労働者に、辮髪をした中国系移民の姿を発見した。アメリカの領土が、まだ太平洋にまで面していなかった時代、アメリカとアジアとのかかわりはあまりなかった。GOLD RUSHにおいてカリフォルニアの地へ領土を伸ばしたことは、アメリカとアジアとの関係にも大きく影響している。それがこの写真の中国系移民の人々である。当時アヘン戦争で国際的にも遅れをとっていたことから、GOLD RUSHの噂により、その多くは自ら志願して移民してきたようである。



中国系移民の写真

(サッター砦資料館より)

E ハーストキャッスル

今回の研修では、アメリカの富豪のすごさを物語るハーストキャッスルにも訪れた。その城を築いたハーストは、GOLD RUSHの後の新聞王ということだが、実はそのハーストの父は、GOLD RUSHで金鉱を掘り当てて巨額の富を得たアメリカンドリーマーであった。